

複合耐病性

ときわ交配

フェイス

◆適作型

ハウス栽培
9月～3月まき

省工ネ品種！
低温果実肥大力のある



◆栽培のポイント

- 台木は、「ぞっこん」、「ときわGT-II」が適する。
- 灌水、追肥は早めのタイミングで行う。
- 収穫期の最低夜温は、13℃でも果実肥大はスムーズで安定した収量となる。

◆特性

- ウドンコ病、かっぱん病に強く、べと病にも比較的強いいため、薬剤散布が軽減でき、栽培後半まで安定した栽培が行える。
- 草勢は強、低温伸長性があり側枝、孫枝とも安定して発生する。
- 果実肥大は早く、初期から多収となり、樹ボケの心配は少ない。
また低温下においても順調に果実肥大し、

尻細果の発生は少ない。

- 主枝雌花率は、11月播種で20～30%となる。各節1～2果成りが主体となる。
- 果実は21～22cmで、果色は濃緑、肩こけ少なく秀品率高い。また果やけの発生も少なく安心して栽培できる。
- 葉は濃緑で中大葉、受光態勢の良い草姿となり、管理作業が行いやすい。

“作る”を感動に変える、おいしさを届けて60年。



株式会社

ときわ研究場